

〔曲名〕 Symphony "Die Uhr" II

交響曲「時計」第二楽章

〔曲種〕

〔作曲者〕 Joseph Haydn

ハイドン

〔編曲〕 中野二郎

Jiro Nakano

ハイドンは交響曲だけでも104あり、これは1794年の作曲。時計と云われる所以は第二楽章で、幾度となく繰り返して現れる主題が、

単調なスタッカート八分音符型の機械的なリズムによって伴奏される単純な外面的な理由から来たもので、

恰（あたか）も時計の時を刻むセコンドのように揺れ動かない整然としたリズムの上に美しいメロディが交差する様は、

複雑怪奇に発展した現代の音の世界に得難い清涼剤の心地がする。

マンドリン古典合奏曲集30集より